

(様式6) 社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	愛知静岡交流圏域活性化計画									
計画の期間	平成24年度	～	平成28年度	交付対象	静岡県(愛知県と連携)					
計画の目標	新東名・東名高速道路との連携を活かし、関連する道路等の整備により、観光施設へのアクセス性・快適性を向上させ、愛知静岡交流圏域への旅行客の満足度アップを図るとともに、併せて観光ルートマップの作成等のソフト事業を実施し、愛知静岡交流圏域の観光入込客数の増加を図り、ハード・ソフト両面から愛知・静岡広域地域における観光産業の活性化を図る。									
計画の成果目標(定量的指標)	・愛知静岡交流圏域における入込観光客※)の増減率 102.7% (H28) ※) 入込観光客=宿泊客+観光レクリエーション客(行祭事、イベント除く) ・愛知静岡交流圏域における旅行客の満足度 30.0% (H28)									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)				
①	愛知静岡交流圏域における入込観光客の増減率 (愛知静岡交流圏域における入込観光客の増減率) = (評価時点の年間入込観光客数) / (H21の年間入込観光客数)			100.0% (124,081千人)	102.3% (126,974千人)	102.7% (127,371千人)				
②	愛知静岡交流圏域における旅行客の満足度(非常に満足、大変満足の割合)			23.7%	28.0%	30.0%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,224 百万円	A	6,582 百万円	B	580 百万円	C	62 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.9%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ										
第2期 (H20~H24)					第3期 (H25~H29)					
分野名	活力・交流				分野名	活力・交流				
目標名	都市・地域交通の快適性、利便性の向上				目標名	道路網の強化				
指標名	-			目標値 (H24)	-			指標名	-	

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業																		
A1 広域連携事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H24	H25	H26	H27	H28			
1-A1-2	道路	一般	静岡県	直接	-	都道府県道	改築	(主)川根寸又線(川根本町奥泉)	現道拡幅 L=0.3km	川根本町						50	○	
1-A1-3	道路	一般	静岡県	直接	-	都道府県道	改築	(主)吉田大東線(菊川市潮海寺)	現道拡幅 L=0.4km	菊川市						227	○	
1-A1-4	道路	一般	静岡県	直接	-	国道	交通安全	(国)301号(湖西市大知波)	交差点改良 L=0.192km	湖西市						43	○	
1-A1-5	道路	一般	静岡県	直接	-	国道	交通安全	(国)301号(湖西市太田)	歩道整備 L=0.4km	湖西市						334	△	H30
1-A1-16	道路	一般	静岡県	直接	-	都道府県道	改築	(主)川根寸又峡線(川根本町奥泉)	現道拡幅 L=0.6km	川根本町						199	○	
1-A1-6	河川	一般	静岡県	直接	-	河川改良		(二)小藪川(周知郡森町中川)	河道拡幅 L=0.8km	周知郡森町						780	△	H33
1-A1-7	河川	一般	静岡県	直接	-	河川改良		(二)逆川(掛川市八坂)	河道拡幅 L=0.4km	掛川市						60	○	
1-A1-8	河川	一般	静岡県	直接	-	河川改良		(一)稲荷部川(菊川市中内田)	河道拡幅 L=0.9km	菊川市						730	△	H29
1-A1-9	河川	一般	静岡県	直接	-	河川改良		(二)葉梨川(藤枝市下之郷)	河道拡幅 L=0.3km	藤枝市						669	△	H30
1-A1-10	河川	一般	静岡県	直接	-	河川改良		(二)黒石川(焼津市小川)	河道拡幅 L=0.4km	焼津市						910	△	H33
1-A1-11	河川	一般	静岡県	直接	-	河川改良		(二)東光寺谷川(島田市岸町)	河道拡幅 L=0.9km	島田市						705	△	H34

1-A1-12	河川	一般	静岡県	直接	—	河川改良		(二) 興津川 (静岡市清水区小島)	河道拡幅 L=1.1km	静岡市						867	△	H33
1-A1-15	河川	一般	静岡県	直接	—	河川改良		(二) 垂木川 (掛川市桜木)	河道拡幅 L=0.7km	掛川市						780	△	H33
1-A1-13	港湾	一般	静岡県	直接	—	国際拠点	建設	清水港 (折戸親水緑地) (静岡市清水区折戸)	緑地整備 A=14,800m ²	静岡市						108	○	
1-A1-14	港湾	一般	静岡県	直接	—	国際拠点	改良	清水港 (三保小型船棧橋) (静岡市清水区三保)	棧橋改良 N= 4基	静岡市						100	○	
1-A1-15	港湾	一般	静岡県	直接	—	国際拠点	建設	清水港 (日の出緑地) (静岡市清水区日の出)	緑地整備 A=3,270m ²	静岡市						20	—	未実施
合計															6,582			

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28				
1-B1-1	海岸	一般	静岡県	直接	—	海岸	堤防改良	湖西海岸 (湖西市白須賀)	堤防改良工 L=600m	湖西市						80	○	
1-B1-2	海岸	一般	静岡県	直接	—	海岸	堤防補強	浜松五島海岸 (浜松市南区松島町)	突堤工1基・消波工1式・養浜工V=90,000m ³	浜松市						500	△	H39
合計															580			

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-B1-1	越波などの危険性のある海岸堤防を改良し、白須賀宿歴史拠点等における観光客などに対する安全安心を向上させることにより、愛知静岡交流圏域内の観光スポットとしての機能を高め、観光入れ込み客数の増加を図るとともに、地域の活性化を目指す。															
1-B1-2	越波などの危険性のある海岸堤防を補強し、浜松まつり会館等における観光客などに対する安全安心を向上させることにより、愛知静岡交流圏域内の観光スポットとしての機能を高め、観光入れ込み客数の増加を図るとともに、地域の活性化を目指す。															

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H24	H25	H26	H27	H28			
1-C1-1	広報活動	一般	静岡県	直接	—		広域観光PR事業	広域観光ルートマップ作成							30	○	
1-C1-2	調査計画	一般	静岡県	直接	—		計画評価	計画評価及び評価に係る調査							30	○	
1-C1-3	交通円滑化	一般	静岡県	直接	—		交通円滑化対策	案内看板製作、設置	川根本町						2	○	
合計															62		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C1-1	愛知県と静岡県で連携して、基幹事業を入れ込んだ広域観光ルートマップを作成し、当地域の観光の活性化を図る。															
1-C1-2	愛知県と静岡県で連携して、拠点施設で満足度調査を実施することにより、事業実施の効果を的確に把握する。															
1-C1-3	(主)川根寸又峡線(1-A1-16)の道路改良事業と合わせて、(国)362号の狭隘区間における案内看板の設置による交通誘導対策を一体的に実施することにより、拠点施設「寸又峡温泉」と富士山静岡空港や新東名高速道路島田金谷ICとを観光シーズンに円滑な交通機能を確保することで、観光産業を支援し、愛知静岡交流圏域内の観光スポットの魅力を一層高め、観光入れ込み客数の増加と地域の活性化を図る。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・（国）301号（湖西市大知波）等の道路整備を実施したことで、地域間交流がスムーズとなり、結果として、静岡と愛知間の交流の活性化につながった。
- ・葉梨川の河川改修工事等を推進したことで、豪雨による浸水被害に対する安全度が向上し、拠点施設周辺の観光地全体の魅力向上につながった。
- ・日本三大美港である清水港にふさわしい景観を創出するために、拠点施設周辺において緑地や小型船係留施設整備を行った。良好な港湾環境が形成されたことにより、人を集める魅力が向上し、結果として、交流圏内における観光産業の活性化に寄与した。

II 定量的指標の達成状況

指標①（愛知静岡交流圏域における入込観光客の増減率）	中間目標値	102.3%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間目標値に比べて約3.2%増減率が低い値であった。 ・ 本指標の基準年がH21であり、東日本大震災等の影響を受ける前の水準までは入込観光客が回復していないこととなるが、事業開始年度のH24を基準とした場合、入込観光客の増減率は106.8%と中間目標を上回っており、観光客数が回復傾向にあることが確認された。 	
	中間実績値	99.1%			
	指標②（愛知静岡交流圏域における旅行者の満足度）	中間目標値	28.0%		目標値と実績値に差が出た要因
	中間実績値	36.8%			
	指標③（ ）	中間目標値			目標値と実績値に差が出た要因
		中間実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

- ・ 新東名（豊田東JCT～浜松いなさJCT）の開通に合わせ、愛知県とNEXCO中日本と連携して、基幹事業の内容を盛り込んだ広域ルートマップを作成することで、広域的な観光の活性化と本事業の整備効果を広くPRした。

3. 特記事項（今後の方針等）

新東名高速道路の開通やラグビーワールドカップの開催決定など、今後も愛知静岡交流圏の更なる活性化が期待される。引き続き、各事業の進捗を図ることで、交通や環境、防災等の面から当該地域の活性化を支援していく。

(様式6) 社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	愛知静岡交流圏域活性化計画		
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度	交付対象	静岡県 (愛知県と連携)

